

琉球大学学術リポジトリ

1960年1月の安保条約改定時の朝鮮半島有事の際の 戦闘作戦行動に関する「密約」に係る調査関連文書 No.5

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 朝鮮半島有事, ロジャース国務長官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43886

164

大臣
大臣
田中大臣

PMO局長
#3
船

特秘

大臣・国務長官才二次会議要旨(追加)

44.6.5
米比-長五

6月4日午後の有会談要旨は在米大使宛電報
才1723号で報告されたが、内容詳細の取
扱代理あり

電報に記載された^{沖縄、米軍基地、仲絶}維持
の「予前協定」に肉する方式(「ア-エラ、Bは「アレンジ

メント」)に711の取り取りを以下の如く(追加(順序
としては同電報の3の(2)と(3)の間に位置する))
(北録録)

この討議は日米双方とも信し合いか、意外に進
展したとの印象を得たが、後刻非公式の直接

觸の結果、米側が一種の誤解に基づく過度に樂觀
的の見方をしているとの非候がうかかれた。

- 1. 方式の探求(「予前協定」と共同声明)
(1) 憂知大臣の厳しいアジア情勢の中で沖縄の米軍

1943(2113)

基地の役割の重要性を高く評価し、特に軍事的
緊迫の起るに際、日本の安全に直接関係する問題

と見られ、基地の仲絶を容れさせないア-エラを日米
共同で検討し、満意な経過を見出すべき

主眼、次にこのわが国で行なわれる「予前協定」
の中止論、の起るに際、^{政治的}政治的理の背景を

説明し、この論を完全に説き(主眼は米側
以上YESとNOとも言える)である旨指摘した

(2) 更に大臣の軍事的、政治的の両面の要請に答之
得る方式として、YESの在り方として日米双方が完全

に同意しキチンと書い出さ(とが^善良の24有いかと
思ふと述べた後、自分の考之方の一端を示すものと

条約局作成の共同声明抜粋(44.5.26付)
の内容を披露し、^米総理と大統領の間に

合意し、日本政府がその運用の基^本と存^在認識を国民に宣言する^{こと}にか^らい^ての^こと^をい^うこと^を述べた^{こと}。
(日米共同声明)

(3) 両国^の外務省^がも^の共同^の声明^の如^くに^公表^した^{こと}を^好む^{こと}。その^内容^は日^米が^極東^の地^域の^国の^安全^に関^連する^{こと}。
(日米共同)

安全が日本の安全と密接に^関連^して^いる^{こと}を^認め^られ^る。その^およ^びに^日米^の沖^縄基^地が^加え^られ^る目的^の政^策に^使用^され^る。

出^発点^は、^日米^の協^力の^こと^を望^むこと^を認^めら^れる^{こと}。
(日米共同の^上に^て日^米共同^の声明^の抜^粋)
(日米共同の^上に^て日^米共同^の声明^の抜^粋)

原^文の^英文^を平^文に^して[、]他^に外^務省^の対^外に^向して^は一^切の^文書^の取^扱に^関して^は一^致する^{こと}を^認め^られ^る。

2. 方式の在り方

(1) 大^臣の^決定^に基^づき^て日^米が^極東^の地^域の^国の^安全^に関^連する^{こと}。
(日米共同)

日^米が^極東^の地^域の^国の^安全^に関^連する^{こと}を^認め^られ^ること^を望^むこと^を認^めら^れる^{こと}。
(日米共同)

これは必ず取り戻し^があ^らね^ばな^らぬ^{こと}と^述べ^られ^る。
日^米が^極東^の地^域の^国の^安全^に関^連する^{こと}を^認め^られ^ること^を望^むこと^を認^めら^れる^{こと}。
(日米共同)

日^米が^極東^の地^域の^国の^安全^に関^連する^{こと}を^認め^られ^ること^を望^むこと^を認^めら^れる^{こと}。
(日米共同)

日^米が^極東^の地^域の^国の^安全^に関^連する^{こと}を^認め^られ^ること^を望^むこと^を認^めら^れる^{こと}。
(日米共同)

日^米が^極東^の地^域の^国の^安全^に関^連する^{こと}を^認め^られ^ること^を望^むこと^を認^めら^れる^{こと}。
(日米共同)

日^米が^極東^の地^域の^国の^安全^に関^連する^{こと}を^認め^られ^ること^を望^むこと^を認^めら^れる^{こと}。
(日米共同)

日^米が^極東^の地^域の^国の^安全^に関^連する^{こと}を^認め^られ^ること^を望^むこと^を認^めら^れる^{こと}。
(日米共同)

日^米が^極東^の地^域の^国の^安全^に関^連する^{こと}を^認め^られ^ること^を望^むこと^を認^めら^れる^{こと}。
(日米共同)

3 方式の^{実質} (在極東米軍の保護)

(1) ジョーンズ次官が在韓米軍の支援に関する合意
 (不公表) に言及した後、米世論も国民一般の
 協賛をNOと受け取った。 (11月24日、今後のアジェンダに当り)
 (47) (11月24日) (11月24日、今後のアジェンダに当り)

よって在^日米軍は在韓米軍を保護出来ること
 11月24日、米世論も国民一般の協賛をNOと受け取った。従って上記合意を
 公表し、世論も国民が在韓米軍を在韓米軍の
 保護の為に使用出来ること確信を予て示した。

と、米国のより大規模な介入問題が起ると述べた。
 ジョーンズ次官も自前のVETOの理由、米軍駐留の目的は
 単に自前の保護のみならず他地域の自国軍を保護
 出来ることである旨を述べた。ジョーンズ次官
 は沖縄のみならず在韓基地も同じくこの目的に
 使用されることと米国の立場を明らかにした。

(2) 大臣の自前も上記合意の公表に賛成だが、文言
 の変更を求め、韓米政府が代わるとしてと
 述べた。ジョーンズ次官は賛意を表し、上記合意を
 REPLACE したいと述べたが、下田大佐が公表
 された文書は韓国に限定するものと見なす
 旨を述べた。その一方で、極東地域に因る GENERAL
 STATEMENT が良いと述べた。二つの韓国・台湾及び南東
 アジア全体 (下田大佐の意向に照らし合わせて)
 述べた。よって、また自前の沖縄の基地
 及び直接南東アジアに戦闘作戦行動がとられること
 は稀だが、沖縄のB-52の南爆はアジアに戦争遂
 行上極めて重要である。台湾に712も有り得べき
 (合意が台湾に7124 DIRECT USE 拡大を抑制し
 たい旨を述べた。)

(2) 大臣の答に以上何れかの(相違形式)が
 必要であるから、YESともNOとも言う可能性を
 示した。内、外に明かした。基本は
 合意のある限りにおいて、協定が有るか(YESと)
 二とは出まると言うを、長官は下田大佐の
 示唆の如く、米軍支援がYES、その他がNOという
 (の場合)
 二とは文の二つ右に述べた。下田大佐は
 大臣の発言を~~行~~行に、理論的に分析
 発生の際、協定が受ける権利があるか、内、外
 同知の已然、左と之は朝鮮の場合のみはYESと
 11文を二つある。11文も同知の已然と
 述べた。
 (3) 東郷局長は、本日の話し合いで、随分進展がみられ
 文言の検討も出まるとはいないか、~~大臣~~大臣
 ました。

坊、~~文~~非常と国権を侵害するに
 入~~る~~二つは二つが出まるとは右と解して、
 との発言が夫々あり、長官は11月7日
 ながら、前進しようとした。
 5. 概に同方式
 (1) 上記(3)の論議の際、二回ソソクは概に
 (一時的に長官は概に11月7日、~~と~~と)
 言、(二つは二つは概に11月7日、~~と~~と)
 かに二つはVITALな発言し、大臣は二つは
 (二つは二つは)
 東郷局長は原則は本土並とするか、~~二つは~~現状を
 既43、二つは二つは二つは二つは二つは
 有れば、自由な意見交換の際の個人的意見
 に過ぎず、その後本格的検討の結果を
 東郷局長を通じて米側に伝え、10-10-10の発言に
 二つは、二つは二つは二つは二つは二つは
 (二つは二つは)

(2) ショーン次官は、小笠原返還の際 緊急事態に於ける
核に属する特別のアレンジメントに於ては、完全に

満足すべきものではな^いか^ら一^つに合意した。しかし
印能は同じように方式と子の^上困難である。核に

ついては前協定のNOと^は限る^ない^{こと}を^もつ^た明^かな^なる^こと^を
主張して、大匠は返還時の核を撤

去にしたいが、結果的に緊急事態に^は起^き得^るが、^法
体系的問題として当然前協定の対象となる

として、印能は核を^もつ^た明^かな^なる^こと^を主張^して^は
困難な事態を惹起する、と^もつ^た明^かな^なる^こと^を

い^つも^も便^なる^こと^を認^める^こと^を賢明^と
ではないか、と指摘した。

(3) 会議終了直前に ショーン次官は重ねて核の問題
につき最大の内意と強い RESERVATIONS を表明の上

しかし小笠原方式より^もつ^た明^かな^なる^こと^を不公表の^アニ^ンの^シ
緊急事態に^はつ^て案出を提唱、^アニ^ンの^シ

日本への反対を^もつ^た明^かな^なる^こと^を返還時撤去、再持込み
時には前協定と^は方式と異なる^こと^を認^める

(左の如く) 次官は^もつ^た明^かな^なる^こと^を核を^もつ^た明^かな^なる^こと^を
出す、と答えた。

(4) 東郷局長は、前協定の^上に核が^もつ^た明^かな^なる^こと^を
を前提として^もつ^た明^かな^なる^こと^を、若し日本が核の^もつ^た明^かな^なる^こと^を

を^もつ^た明^かな^なる^こと^を国会に提出した^こと^を
ないと思ふ旨私見として^もつ^た明^かな^なる^こと^を。(二はに

対し下田大使は疑念を表明)

— 以上 —